

## インフルエンザ(2026年第10週)疫学情報

《コメント》

2026年第10週の定点当たり報告数は14.33(患者報告数54,516)となり、前週の定点当たり報告数22.66よりも減少した。都道府県別では長野県(29.08)、岩手県(26.33)、北海道(26.11)、青森県(24.33)、新潟県(24.22)、富山県(22.90)、石川県(22.45)、福岡県(19.59)、山口県(19.37)、山形県(19.00)の順となった。全国47都道府県中、1都道府県では前週の報告数よりも増加し、46都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は352例であり、前週(624例)から減少した。45都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(16例)、1～4歳(72例)、5～9歳(91例)、10代(46例)、20代(14例)、30代(14例)、40代(16例)、50代(10例)、60代(16例)、70代(24例)、80歳以上(33例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2026年第6週～2026年第10週)では、B型が385件(93%)、AH3亜型が25件(6%)、AH1pdm09が3件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。